

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

南風原町立南風原中学校

教諭 玉城 晃

1. 単元名 「沖縄の観光産業は本当に持続可能？」

2. 単元の目標

- ・沖縄県の観光産業における課題について情報を収集し、課題を解決するために必要なことを多面的に理解する。 (知識・技能)
- ・これまでの生活や修学旅行の事前学習などを通して、沖縄県の観光産業の持続可能性について考え、まとめたことを適切な方法をもって表現する。 (思考力・判断力・表現力)
- ・沖縄県の観光産業における課題を見いだし解決していく一連の学習に主体的・協働的に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本校では校内研修テーマを「持続可能な社会の実現を目指して学び続ける生徒の育成—学びに向かう力の見取りを通して—」と設定して教育活動を展開している。総合的な学習の時間にあっては、従前から取り組んできた福祉や就労、地域や進路に関する学習をSDGsと関連づけて取り扱うこととした。新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって、3学年の修学旅行先は九州から沖縄県内日帰りとなった。これまで3学年の総合的な学習の時間では、九州の文化や歴史について調べ見聞を広げてきた取り組みを沖縄県内にシフトし、沖縄の観光産業の持続可能性を探っていくこととした。

沖縄県のリーディング産業である観光業にあっては、オーバーツーリズムによる環境の汚染や交通渋滞、就労形態の変化など、多様な問題を包含しているのは明らかであり、沖縄県の観光産業を持続可能にしていくことがこれからの沖縄県の発展に不可欠である。そのときに、中学校を卒業し自己の進路を考えていくときに、観光産業に限らず社会の持続や発展のために自分にできることを他者との関わりの中で考え、よりよい解決策を見いだししていく体験に資するものであると考える。

(2) 生徒観

南風原町観光協会のホームページによると、「那覇市のすぐとなりで、高速道路や主要幹線道路が通っていて、交通アクセス抜群」であることや、「那覇市の隣なので那覇空港・首里城・国際通りなどへ行くのに便利です。主要な幹線道路・高速道路が通っているので、美ら海水族館やビーチなどへのアクセスにも優れています。」と言及されている。本町における観光資源は南風原花織や緋といった伝統工芸品、第二次世界大戦時の病院壕跡、カボチャなどの農作物、町花であるストレリチアの生産などが挙げられるが、観光産業としての活用には課題がある。また、本校においてはこれまで総合的な学習の時間に福祉や平和、地域の伝統工芸について体験を通して学習する機会があったものの、観光産業と自分とをつなげて考える学習の場はなかった。生徒は自分自身が沖縄の観光産業とどのように関係があるのか、その持続や発展のためにできることを意識する機会が少ないものと考えら

れる。

生徒の実態として、令和3年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問に肯定的な回答（「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」）をした生徒は96.5%であったのに対して、「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか」という設問に最も肯定的な回答をした生徒は9.2%にとどまった。社会の役に立ちたいと考えているのに対して、日ごろから社会や地域の問題を自分事として捉え、問題解決を志向する生徒が少ないという現状が窺えた。

（3）指導観

沖縄県の観光産業の課題を知るにあたって、沖縄観光コンベンションビューローに講師派遣を依頼して、ブセナ海中公園事業所長の招聘を予定している。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で体験活動や事業所訪問も計画できないことから、生徒に観光産業の現状を知らせるために実際に現場で観光産業に携わっている方の講話を聞く機会を設けた。その後、Chromebookを用いて情報を収集する機会を設ける。

本県の観光産業の課題や現状の背景にどのような問題が潜んでいるのか、またそれをどのようにして解決することができるのか、といった課題解決的な学習を下支えする教師のあり方として、①生徒の意見やアイデアを否定しない、②実現可能性を考慮しつつ代替案を提示する、③情報を提供し調べ学習を支援することなどが考えられる。

今年度は12月に総合文化発表会を控えており、各学年ともSDGsの視点から調べたことや考えたことを発表する予定である。その際には、沖縄の観光産業の課題について調べたことや班ごとにその解決策を提案する形でプレゼンテーションする計画である。本単元の指導にあたって、教師はファシリテーターとして生徒の調べ学習や班での課題解決的な学習を支援するものとする。

（4）ESDとの関連

○この題材で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- ・相互性…観光産業は他の産業や環境のあり方とも密接に関連しあっており、どちらかを抜きにその発展を論じることができないということ。
- ・公平性…次代につながる持続可能な沖縄の観光産業の発展の土台を築いていくことが大切であるということ。
- ・責任性…responsible tourismという視点を発信し続けていくのと同時に、沖縄に住む私たち自身の意識や行動の変革が求められているということ。

○この学習を通して育てたいESDの資質・能力

・批判的に考える力（クリティカル・シンキング）

沖縄の観光産業の持続可能性について問うことで、現状における課題を発見する。

・多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）

沖縄県民、観光客、環境といった視点から持続可能性を高めるために大切なことを考える。

・コミュニケーションを行う力

沖縄の観光産業における課題を解決するために、どのような工夫ができるか意見を交流しながら、解決策を考えることができる。

・進んで参加する態度

沖縄の観光産業を考えることは将来の自分たちの生活を考えることにつながっていることを意識して調べ学習や話し合いに積極的に参加することができる。

○この学習を通して育てたいESDの価値観

・世代間の公正

→沖縄県の「観光産業」には持続可能性の面から解決しなければならない課題がある。

・自然環境や生態系保全を重視する

→沖縄の強みである「海」の豊かさを守ることは不可欠である。

・人権、文化を尊重する（文化多様性の尊重）

→沖縄にしかない伝統芸能や工芸、文化や沖縄戦の事実などは受け継いでいく必要がある。

○達成が期待されるSDGs

- 8 経済成長と雇用
- 12 持続可能な生産・消費形態の確保
- 14 海洋資源・海の豊かさ
- 16 平和・公正
- 17 実施手段

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 沖縄の観光について必要な情報を収集し、その課題や関連する問題を理解している。	① 調べた情報をもとに、課題を解決する方法について班での協議を通して考えることができる。	① 沖縄の観光の現状や課題について、当事者意識を持って一連の学習に取り組んでいる。
② 調べたことや考えたことを適切な方法でまとめることができる。	② 観光の課題について調べたことや考えたことをスライドにまとめ、工夫して発表できる。	② 自分自身の生活と沖縄の観光との関連について考え、その解決策を探ろうとしている。
③ 調べた情報の妥当性について批判的に捉え、吟味することができる。		③ 調べてわかったことや考えたことを聞き手にわかりやすく伝えようとしている。

5. 単元の指導計画（全 27 時間）

次	学習活動	● 学習への支援
1	① 沖縄の観光産業の課題について知る ・「沖縄の観光×SDGs」講話 ・沖縄の観光の課題を調べる	● Google Meet で各学級をオンラインでつなぎ、特定の学級をホストとして配信する。 ● 学級担任は趣旨を説明し、適宜補足しながら内容理解に資する
	② 沖縄の観光の課題について調べまとめる ・調べたことを B4 の画用紙または Jamboard でまとめて個人の掲示物を作成する。	● 直接書くことが苦手な生徒や PC 操作が得意な生徒については Chromebook を活用し Jamboard を使用して良いものとする。
	③ 班での調べ学習 ・班ごとにテーマを設定して、現状やその背景にある問題を調べ、解決するためにどうすればよいか班で話し合う。	● 班ごとの調べ学習では内容が偏りすぎないように職員で調整しながらテーマの決定を支援する。
2	④ 発表方法の決定 ・Google スライドや Jamboard、寸劇など、発表方法を班で検討する	● 発表をする際に必要な役割を想定しながら班員の仕事に偏りがないように対話を通して決定する。
3	⑤ シナリオ作成、発表準備 ・発表シナリオを作成し、発表に向けての準備を進める。	● シナリオを作成するにあたって、スライドと照合しながら、発表を想定した準備ができるよう職員で支援する。
4	⑥ リハーサル、学年発表 ・相互評価シートを用いて、互いの班の発表を評価しながら聞く。	● 学年発表に向けて、発表時間やシナリオを調整しながら準備させる。 ● 自分事に置き換えて考えながら聞くように評価シートを活用させる。
	⑦ 総合文化発表会 ・他学年が SDGs の視点で調べたことを Chromebook で鑑賞する。 ・代表発表者や教科の発表を鑑賞する。 ・発見やわかったことを Chromebook でまとめる（GoogleForms 等を活用）	● 他学年の取り組みや各教科の展示や舞台発表を通して、SDGs の視点からそれぞれの取り組みについて、立場を置き換え評価しながら聞かせる。 ● Chromebook を活用できるように支援する。